

地域とともにあゆの学校を目指して

「みんなの学校」

町では、今年度から町内全ての小・中学校でコミュニケーション・スクールを開始します。

コミュニケーション・スクールでは、保護者や地域の人が一定の権限と責任をもって学校運営に参画します。そして、地域の声を積極的に反映し、学校と目標やビジョンを共有することで、子どもたちにとってよりよい教育の実現を目指します。

これまで、地域の声を反映させる制度として学校評議員制度や学

校評価などがありましたが、これらの取組みを一步進めたものがコミュニケーション・スクールです。

「学校運営協議会」と
「学校支援地域本部」

高根沢町版コミュニケーション・スクール「みんなの学校」は、学校運営協議会と学校支援地域本部で構成されています。

学校運営協議会は、保護者や地域の人などが委員となって、学校運営の基本方針の承認や教育活動等への意見、学校の評価を行います。地域の人が当事者として学校と対等な立場で協議するので、課題解決に向けた取組みを効果的に進めることができます。

また、学校支援地域本部はボランティア等による学校支援をより充実させていく組織です。学習支援や環境整備など教育活動に必要な支援を行います。さらに、学校支援に携わる人たちをコーディネートする地域コンシェルジュが、学校の依頼に応じて地域の人材をつなぐことで、子どもたちの教育活動の活性化を図ります。

◆ みんなの学校はまさに地域を育てる学校だと言えるでしょう。

◆ 「みんなの学校」はまさに地域を育てる学校だと言えるでしょう。

◆ 地域の人との交流や豊富な体験は、子どもたちの地域への愛情と生きる力を育成します。そして、保護者や地域の人が主体的に学校と関わることで、学校を核としたネットワークが形成され、地域の活力につながります。

◆ 子どもたちの成長が地域の成長にかしながら「地域とともににある学校」を実現するためには、学校と学校運営協議会、学校支援地域本部が「目指す子ども像」を共有し、綿密に連携していくことが重要です。

例えば、学校の依頼に応じて地域コンシエルジュがコーディネートすることで新たな人材の発掘につながり、より専門的な体験学習を実施、子どもたちの学びがさらに充実したものになりました。また、学校からの情報発信や、ボランティアからの声かけにより、地域の人の教育活動への参加が増え、ボランティアの輪が広がっています。

高根沢町版コミュニティ・スクール「みんなの学校」のイメージ

